

中央会

組合活性化情報

岡山県中央会 web site <http://www.okachu.or.jp>

E-mail chuokai@okachu.or.jp

6

2016

June

Vol.656

今月のFOCUS

岡山県中小企業団体青年中央会
第40回通常総会開催 ④

おかやま



有限会社岸佛光堂



「出来ないことはない」

歴史や伝統を尊重し、

現代のニーズに対応する

代表取締役
岸 卓志 氏

リーダーズ「アイ」

代表取締役

岸 卓志氏

有限会社岸佛光堂

中央会おかやま

2

「出来ないことはない」

歴史や伝統を尊重し、現代のニーズに対応する

岸佛光堂は、明治20年に創業し、岡山県内に4店舗を展開する老舗の仏壇仏具専門店です。4代目の岸卓志氏は、人との繋がりを何よりも大切に、様々な業種の方々と交流を重ね、経営を行っております。

このたび、岡山市北区白石に新店舗「New Style 仏壇 岡山西店」を構え、御子息の紘史氏、大貴氏によって店舗運営を行っています。時代のニーズに柔軟に対応しながら、今後の事業承継を見据えた、親子二世代の経営者にお話を伺います。

■最近の業界事情を教えてください

(社長) 住宅事情によってお仏壇のスタイルが変化しています。瓦屋根の和風の家に変わって、洋風の家が増えつつあるように、お仏壇もその家のスタイルに合わせて、家具調仏壇のようなモダンなお仏壇が増えております。仏間や和室が無いお家が多いので、フローリングのお部屋やリビングがお祀りする場所となるのです。10年程前は仏壇全体の1割にも満たなかった家具調仏壇が、ここ3年で7割を越えてきています。他の家具との調和を考え、お祀りされる方が増えていますね。

(大貴氏) 仏教の場合、宗派ごとにご本尊様をお祀りして、そしてお位牌をお祀りします。そういった宗教の考え方にとらわれない商品も多く出てきています。例えば、遺骨を入れるペンダントですね。他には、フォトフレーム。写真立ての後ろにお骨を入れられるステイックがあ

り、写真と一緒に祀りできる商品もあります。昔は分骨という考え方は好まれていなかったかもしれないですが、現在は時代の変化とお客様のニーズを吸収した新しい形の商品が増えていきます。大切な方をお祀りし、手を合わせたいというお客様の想いを第一に考え、業界が柔軟に変わってきています。

■新店舗は現代のニーズにどう対応していきますか？

(紘史氏) 歴史や伝統を尊重しながら、流行を積極的に取り入れていく姿勢を大切にして、モダンで今風なデザインのお仏壇をお客様に提供していきたいと考えています。そういった従来にはない形のお仏壇を、私たちは「New Style 仏壇」という名称で、展開をしております。

また、弊社の特徴を出すため、オリジナルの仏壇仏具を開発しております。その中の一つに、児島のデニムとコラボした商品があります。オリンの布団や袱紗をデニム生地で作りました。もちろん、オリジナルブランドなので、弊社でしか販売しておりません。みなさん普段身につけるものですので、馴染みもありますから、入りにくい仏壇屋さんにも少しでも足運びが増えるように想いが込められております。

(社長) 最近では、ホームページを見て、店舗に足を運ぶお客様が増えてきています。お客様の目で実際に見て頂く事で、「コレだ」と思って頂ける商品が1つでも多く展示出来るよう、大きな規模の店舗にしました。弊社は、新



常務取締役 岡山西店長
岸 大貴氏

フローリングのお部屋に家具調仏壇を置いたショールーム



店舗の他に、本店、倉敷、津山と4店舗構えております。この新店舗の「New Style 仏壇」を求めて、津山や笠岡の方から来店されるお客様もいらっしゃいます。

もちろん、モダンなお仏壇以外の伝統的なお仏壇をお求めになるお客様もいらっしゃいますから、お客様の声を聞きながら、必要な商品を揃えていきたいと思っています。

■心掛けている事や力を入れている事は？

（社長）「出来ないことはない」をモットーに、お客様の立場で物事を考え、先代から築き上げた人脈を活用し、すべての要望にお応え出来るように尽力しております。私どもは事業と家業どちらも大切にしており、お客様に喜んで頂く家業の面を優先的に考えて行動しています。弊社のお位牌のお文字入れはご好評をいただいております。技術や文字の綺麗さを先代から受け継いでおりまして、お家の表札やお七夜の命名書に書いて欲しいという依頼にも応えることがあります。また、昔から使っているお仏壇を綺麗に出来ないかという相談もありません。お客様が大事にされてきたお仏壇への想いを、買い替えという形ではなく、新品同様に再生する、リフレッシュという形で提供させていただきましたら、大変感動していただけたと思います。

このようなお客様本位の考え方は従業員ミーティングや朝礼の場で共有し、従業員一丸となってお客様に心を込めて対応しております。

（総史氏）お客様のご要望にすぐお応え出来るように、弊社独自の仏壇合成アプリを作りました。仏壇を置く場所の写真と、仏壇を合成し、実際に設置した様子をイメージ出来るアプリです。従来は仏壇の写真と仏壇の寸借を出来る限り合わせ、手で合成し、時間を掛けていましたが、今はおお客様とその場でタブレット画面を操作しながら対話出来て、ご要望に柔軟に対応出来るようになっております。時代が進むにつれ、ニーズにお応えするための手法が多くなってきました。

■やりがいを教えて下さい

（大貴氏）お客様の

悲しさや辛さに出会う場面が多く、私たちの力でいかに和らげて差し上げられるかを意識しております。どんな形でもお手伝いをさせて頂き、そのような状況の中で、「ありがた」とおっしゃって頂ければ、救われた気持ちになると同時に、やりがいを感じます。また、お仏壇に手を合わせるということは、先祖を供養し、大切にするという気持ちもありません。しかし、新しい世代へ伝えていかなければ、薄れていきます。小さいお子さんは、親御さんを真似するところから学んでいきますが、お仏壇をご安置させていただいたお客様とのお子様の手を合わせている姿を拝見すると、この仕事をやっていて良かったと感じます。次の世代にバトンが渡っていると、目の前で実感できますから。

■お客様に一言お願いします

（社長）新店舗がオープンし、新しい住まいに似合う仏壇や仏具を豊富に取り揃えています。お部屋で楽しむお香なども豊富に展示しています。誠心誠意お客様のためにご奉仕させて頂きますので、お気軽にお立ち寄り下さい。



児島のデニムとコラボしたオリジナル商品 [BUTSU_DENIM]



専務取締役
岸 紘史氏

企業プロフィール



店名：岸佛光堂 New Style 仏壇 岡山西店
住所：岡山市北区白石274-1
TEL：086-250-7200(岡山西店)
086-252-5065(本店)
HP：http://www.kishi-bukkodo.co.jp/
所属組合：奉還町商店街振興組合
代表取締役の岸卓志氏は、奉還町商店街振興組合理事長、岡山県商店街振興組合連合会理事長、岡山県中央会 理事を務められています。

岡山県中小企業団体青年中央会第40回通常総会開催

去る5月25日(水)岡山プラザホテルにて、岡山県中小企業団体青年中央会第40回通常総会を開催しました。総会には県内の組合青年部関係者約50名が出席し、各議案とも可決承認されました。また、役員改選では新たに岡山県電気工事工業組合青年部会の石井貴朗氏が青年中央会会長に選ばれ、今後の活動方針について、会員である組合青年部及び所属する各企業の役に立てるような活動を強化していきたいと所信表明がありました。特に、若手人材の確保、事業継承、経営者自身のスキルアップ、社員の教育等、人財に関わる中

小企業の課題に対して、青年中央会ならではの事業を実施していくことで貢献していきたいと話されました。総会終了後には、今年度第1回目となる青年部講習会を開催しました。つやま産業支援センター統括マネージャーの小坂幸彦氏を講師にお招きし、「小さな会社を大きく成長させるために必要なこと」と題して講演をいただきました。講演では、今の時代の中小企業経営が持つべき戦略的な経営手法等について、事例を交えながらお話いただき、参加者からは、勘や経験だけでなく理論的な



総会の様子

新会長 石井貴朗氏 挨拶



この度の総会にて新たに岡山県中小企業団体青年中央会会長に選任されました岡山県電気工事工業組合青

年部会所属、カジノン株式会社代表取締役の石井です。前任の中野会長までの歴代の会長が様々な活動を通じて青年中央会の名前を世の中にとっても広められました。その流れを受け、私の会長としての役割は、会員の皆様方への青年中央会活動の周知、お役立ちだと思っています。私は「人材育成と各組合へのお役立ち」を重点テーマとして掲げ、中小企業が自社単独では行いにくい事業

を展開していこうと思っています。そして、各組合が集まった組織だからこそできることを一つずつ行い、会員の皆様にとって、参加して良かった！というお声を一つでも多く集めていき、会員の皆様に青年中央会を浸透させていけたらと思っています。ぜひ皆様のお力を貸して頂けたらと思います。今後共、御協力の程宜しくお願いたします。

経営について学んでいくことの必要性を実感したと好評の声が寄せられました。
(組織支援課 藤田)

青年中央会ビジネススクールの開催のご案内

岡山県中小企業団体青年中央会では「青年中央会ビジネススクール」と題しまして、中小企業を経営する上で役立つ、各経営者の基礎についての講習会を実施します。組合青年部の経営者を対象として、管理会計論やマーケティング等、テーマごとに全6回の講習会を実施しますので、全ての講義に参加いただければ体系的な経営知識を身につけることができます。組合青年部に属する経営者・経営予定者の方であれば無料で受講することができます。理論的な内容もございますが、グループワーク等を行い、わかりあいとした雰囲気での講習会ですので、ぜひ気軽に参加下さい。

開催場所：岡山市北区本町6番36号

第一セントラルビル 会議室(予定)

参加対象：組合青年部に属する経営者・経営予定者

参加定員：30名程度 参加費：無料

カリキュラム及び開催日程：

- 第一回 「中小企業の差別化と独自性について」
平成28年6月22日(水) 19時より
- 第二回 「中小企業のマーケティング戦略について」
平成28年7月13日(水) 19時より
- 第三回 「中小企業の管理会計・財務分析について」
平成28年8月18日(木) 19時より
- 第四回 「ケーススタディ①」
平成28年9月7日(水) 19時より
- 第五回 「ケーススタディ②」
平成28年10月13日(水) 19時より
- 第六回 「補助金活用方法・活用事例について」
平成28年11月15日(火) 19時より

●申し込み・問い合わせ先：

岡山県中小企業団体中央会 組織支援課 藤田
TEL(086)224・2245
mail:fujita@okachu.or.jp

クラウドファンディングを活用して 資金調達・販路開拓！

岡山県及び岡山県中央会では、昨年度に引き続きクラウドファンディングを活用して資金調達と販路開拓を支援する事業「岡山ふるさと投資応援事業」を実施いたします。

クラウドファンディングとは、優れたビジネスプランや魅力ある商品、共感できる経営ストーリー等について、インターネットを通じて発信し、全国の投資家からの小口投資を集める仕組みのことで、資金調達や販路開拓を目指す手法として近年急速に注目を浴びつつある手法です。

昨年度は、本事業を活用して酒米にこだわった日本酒造りや県内産ジビエを活用したメニュー開発、古民家を改装した菓子工房のオープン等の取り組みが採択され、ファンドを立ち上げました。

当事業では、県内の食品関連事業者などの一般消費者に身近な製品等を持つ企業から事業計画を募集(10件程度)、ファンド組成に係る初期費用を全額補助するほか、独自のホームページやパンフレットを作成し、魅力ある情報発信を支援いたします。



採択後は、全国でクラウドファンディング事業を展開している第2種金融商品取引業者ミュージックセキュリティーズ(株)と連携し、ファンドの組成・運営のほかPR戦略支援が行われます。(ファンド組成後の運営・監査手数料は別途個別に契約が行われます)

募集締め切りは7月29日、事業に関する詳細や申請書等は、岡山県中央会のホームページよりダウンロードできます。

●問い合わせ先

岡山県中央会連携支援課

TEL 086(224)2245

HP <http://www.okachu.or.jp/>

(連携支援課 赤松)

平成28年度 消費税軽減税率対応窓口相談等事業

平成29年4月1日の 「消費税軽減税率制度」の導入まで 1年を切りました！

標準税率 10%



軽減税率 8%



事業者は
さまざまな対応が
必要になります。



消費税率が10%に引き上げられます。
軽減税率制度は、
消費税率10%への引き上げに合わせて、
低所得者に配慮する観点から導入されるものです。
軽減税率制度の対象となる品目の消費税については
軽減税率(8%)が適用されます。
事業者の皆さまは業種にかかわらず、
「適用税率ごとに区分けた経理」や
「複数税率に対応した請求書等の発行」などが
毎日の仕事の中で新たに求められます。

■組合で、消費税軽減税率制度導入に向けたセミナーが **無料** で開催できます。

対象経費：会場費、講師謝金、講師旅費、広報費、通信費など。

セミナーの内容：売上UPで経営力向上や消費税軽減税率制度の基礎など、組合に応じてプランニング可能です。

●問い合わせ先 岡山県中央会 組織支援課まで TEL:086-224-2245

HACCP制度説明セミナー開催

去る5月11日、県内の食品関連事業者を対象に「HACCP制度説明セミナー」を開催いたしました。

現在、国が食品関連事業者に対して導入を促すべく検討しているHACCPについては、導入のハードルが高く、対策に苦慮する声が多いとされています。

反面、首都圏や海外を目指す食品関連事業者の間では、自社商品の安全・安心を証明し競争力を高めるためのツールとして、認証取得を目指す企業努力が行われています。

HACCPの普及啓蒙を目的に開催した本セミナーでは、岡山県の担当者からHACCPの概要や国の最新動向について、マトハヤ・フーズコンタクト株式会社 代表取締役 的早剛由氏からHACCP導入の具体的な手順についてご説明いただき、また株式会社みゆきやフジモト 専務取締役 藤本恵子氏からHACCPを実際に導入した事例についてご紹介されました。HACCP導入のメリットとしては、従業員教育や工場管理に有効であり、またトップダウンではなく社員自ら考えて動くことで、社内にまとまりが生まれることな

どが挙げられました。

アンケートでは、さっそくHACCPの導入に向けた話し合いを行いたいといったコメントをいただけるなど、参加者の皆様にはご満足いただけるセミナーとなりました。

岡山県中央会では、今後も食品関連事業者の皆様役に役立つ情報発信を行い、また商品開発や販路開拓などについては、今年3月に開設した岡山フードバレーセンターを窓口として、皆様からのご相談に対応させていただきます。

(連携支援課 鈴木)



三菱自動車工業関連 特別相談窓口の設置について

岡山県中央会では、三菱自動車工業(株)水島製作所の軽自動車生産ライン停止に伴い、5月2日に特別相談窓口を設置しました。

中央会の対応としては県内の輸送用機械器具製造業関連の組合並びにもものづくり補助金申請企業(輸送用機械器具製造業)に対して5月9日から18日にかけてアンケート調査を実施(関連組合5組合・ものづくり企業45社)。今後生産停止に伴う影響がどのように出てくるか、また対応策をどのように行っていくか、行政にどういった要望があるか等の調査を実施し、県に報告しております。

また、アンケート調査の項目に新規の販路開拓・ビジネスマッチングの希望についても調査を行い、マッチングを希望する企業等に対して大手自動車メーカーOBとのマッチング(6月9日・10日)を計画しており、6社が参画する予定になっております。

中央会は国・県の委託事業で、中小

企業と新卒者等とのマッチング、インターンシップ事業を実施しており、労働関係の企業データベースは1800社程度あります。そうした企業に対して、生産停止に伴い、休業が決定している企業の従業員をアウトとして受け入れることが可能かアンケート調査を実施し、希望企業が数十社程度集まれば、出向させる企業の人事担当者やマッチング懇談会を、労働局や県と協力して実施したいと考えています。

また、雇用調整助成金の加算のための教育訓練を組合が実施する場合は、中央会の補助事業を活用して研修会の開催費用を支援し、組合並びに企業側にとって従業員の雇用等について専門家(弁護士・社会保険労務士)の相談が必要な場合は、専門家派遣を中央会補助事業(三菱自動車株式会社関連相談窓口対策支援事業)で対応する予定にしています。支援内容の詳細につきましては、組織支援課にお尋ねください。

がんばるものづくり企業

株式会社小野開発 生コンクリートの品質向上を目指して

岡山県矢掛町にある株式会社小野開発は、所有する山から掘削・製造・販売まで、良質な砂を一貫生産し、真砂土や山砂を製造販売しています。天然の山砂では県内約80%のシェアを有し、学校、球場、ゴルフ場など、様々な施設にてご利用されています。代表取締役の舟木氏にお話を伺いました。



代表取締役 舟木英二氏



ロッドミル（画面中央の水色の機械）



所有する山の航空写真

生コンクリート品質向上のために

当社の山砂は、生コンクリートにも利用されており、生コンクリートはセメントと骨材と呼ばれる砕石や砂を混ぜ合わせた、コンクリートが固まる前のものです。骨材は粒が5mm以下の小さい細骨材と5mmより大きい粗骨材があり、山砂は細骨材に該当します。その砂の品質を高めるために、新設備であるロッドミルを、ものづくり補助金で導入しました。このロッドミルは、山砂を洗浄加工し、川砂を再現するために使用しています。細骨材には元々、川砂が使われていました。川砂は、川上から流されて角が削

られるため、丸に近い形状となります。そのため、生コンクリートの骨材に使用した場合に、流動性（生コンクリートを流し込む際の滑らかさ）が増すのです。しかし、河川環境の悪化・資源管理の観点から、岡山県では昭和47年以降採取が行われなくなりました。

また海砂の利用もありました。瀬戸内海は海砂は、瀬戸内海を取り巻く各県に利用されてきました。大量に採取されていましたが、掘った海底は埋め戻しを行っても、潮流により砂が流されてしまうため、元の海底の状態には戻らなくなります。岡山県では、生態系変化の懸念、自然環境保全意識の高まりから、平成15

年より瀬戸内海は海砂が採取出来なくなりました。

従って、平成15年以降、県内にある山砂が注目され、当社はそれ以降、急激に販売量が増えてきました。当社の山砂は、所有している山から採掘した花崗岩を砕いて造ります。花崗岩は山の表面に存在する真砂土より下に存在します。粒の大きさを、5mm、3mm、5mmと徐々に砕き、5mm以下の石を新型設備のロッドミルにかけて製品化しています。その後、ロッドミルを通過した砂を洗浄加工して、微粒分を洗い流します。海砂と違って塩分等の不純物質を含まない、施工性に優れた、生コンクリートに最適な

川砂の再現を行っているのです。今後は、排水処理施設の増設により、山砂の需要の増加に備えたいと思います。

山砂を活用したブレンド砂開発による今後

フッシオン性があり、足の疲労が溜まりにくく、転んでも怪我をしにくい真砂土の長所と、水はけに優れた上記の山砂の長所を合わせ持った、ブレンド砂を開発し始めました。ロッドミルと同様、ものづくり補助金を申請して新たな設備の導入により、ブレンド砂の製造効率を高めていきます。塩分が含まれていないため、緑化や芝生の養生に相性が良く、学校のグラウンドの水はけにも最適です。中央会の補助金事業を活用しながら、新たな開発で販路を拡大し、小野開発の砂の良さを様々な方々へお届けしていきたいと思えます。

企業データ

企業名：株式会社小野開発
 代表取締役 舟木 英二氏
 所在地：岡山県小田郡矢掛町横谷
 800番地1
 資本金：1,000万円
 業種：土石製品製造業
 TEL：0866・82・0705

（組織支援課 吉尾）

協同組合の強みを生かし、環境問題に取り組み

協同組合倉敷環境システム

15社で設立されました。主な業務は、倉敷市に委託された家庭ごみの収集やペットボトルの回収、選別、圧縮などの業務を行っています。その事業範囲は倉敷市の広域に及び、市の環境行政に大きく貢献しています。

当組合は、倉敷市からの委託を受けてペットボトルを回収し、再利用するための選別・圧縮をしている唯一の工場です。倉敷市が指定するペットボトル置き場の拠点は100を超えています。そこには2名の組合従業員が日々回収に向かっています。集められたペットボトルは、400本が一つのブロックになるようにプレスされ、それが一日あたり平均130ブロックほど生産されます。当然夏場になればペットボトルの回収量は増えるため、一日に200ブロックに達する日もあります。つまり、単純計算で一日に最大80000本ものペットボトルを選別、圧縮していることとなります。また、選別は手作業で行われるため、非常に多くの時間と労力を必要としますが、作業効率を上げるため様々な工夫をしています。ハード的には、2本のコンベアライン(処理ライン)を持ち業務効率化のために無駄を徹底的に省いた処理施設です。



圧縮後のペットボトル

今後は、当組合が倉敷市から委託業務を継続的に受注できるように付加価値の高い仕事を提案していくことが重要と考えています。倉敷市から委託されている業務もさることながら、例えば日々の回収業務を市民目線で行いながら安心安全なまちづくりに貢献していくことや、災害時に組合の強みである強固なネットワークを生かし災害廃棄物を適正処理できるように、倉敷市と協調していきたいと考えています。

(組織支援課 長木)

組合データ

協同組合倉敷環境システム
理事長：山田 英基 氏
住所：〒712・8052
倉敷市松江四丁目2番10号
TEL：086・456・5374

お土産商品の共同開発、連携先も募集中!

湯原町旅館協同組合

インバウンド対応のためのおもてなしセミナーの実施

岡山県の実施する外国人旅行者宿泊者数調査結果によると、平成27年9月から12月に県内に宿泊した外国人旅行者宿泊者数は、対前年同期比140.4%の34,376人となっており、大きな増加がみられる結果となっています。

こうしたなか、湯原町の宿泊業者によって構成される湯原町旅館協同組合は、外国人観光客がより宿泊しやすい旅館・ホテルになっていくことを目標に、外国人のお客様へのおもてなしについて学ぶセミナーを実施していきます。また、組合員企業に勤める接客スタッフを中心に参加を募り、語学・接客術に長けた方を講師としたセミナーも実施します。英語での対応やおもてなしを深く身につける為、セミナーは複数回に渡って実施し、また内容としても、参加者の働く職場でのロールプレイを行う等、実践的な内容となっています。

また湯原町旅館協同組合は、組合員の各旅館で販売するお土産商品の開発にも取り組んでいます。平成23年には、湯原温泉の自然の中に生息する特別天然記念物、「オオサンショウウオ」をモチーフとしたお土産商品の開発を行いました。地

元の魅力を活用し、組合と湯原町の活性化に繋げていくことを目標としたこれらの商品は、現在でも湯原温泉の各旅館等で販売されており、好調な売り上げが続いています。

湯原町旅館協同組合は、今後も岡山県の特産品を活用したお土産商品の開発を実施する予定としています。商品開発にあたっては、岡山県内の組合と連携して実施することも希望されていますので、興味を持たれた方は、ぜひ中央会までご連絡下さい。

(組織支援課 長木)

組合データ

湯原町旅館協同組合
理事長：池田 博昭 氏
住所：〒717・0402
真庭市湯原温泉124
TEL：0867・62・3024



平成23年に企画開発したお土産商品の一つ「はんぎきチョコ」
※はんぎき：オオサンショウウオの別名

若手経営者は今 青年部の活動を追う

「変化に挑み、お客様の心を掴む」

岡山県パン協同組合は、現在21の組合員で構成される組合です。

パンを市販向けに製造・販売する他、商店への卸し販売や、学校給食として岡山県内の学校へ配送をしています。

当組合の青年部会長に就任されているのが、株式会社トングウ代表取締役の吉田宣弘氏です。総社駅前にある創業80年以上の老舗、有限会社頓宮製パンを引き継ぎ、平成19年4月1日に株式会社トングウとして経営をスタートさせました。当時31歳で社長となり今年で9年目、常に挑戦し続けてきた吉田氏から、お話を伺いました。

■社長就任直後の苦労

有限会社頓宮製パンに勤めて9年目に、一従業員であった私の研究熱心な姿が前社長に一目置かれ、新社長に就任しました。社長就任後苦労したことといえば、一番は人間関係でした。当時従業員は15名前後で、私より年上ばかりの職場。社長就任後も従業員は「吉田君」と思わず言ってしまう程、なかなか社長として認識されるまでに時間がかかりまし



100種類以上ある店内のパン

全員の認識を一致させスタートを切りましたが、新しい考え方は受け入れられにくく、何かをやるうとするたびに従業員からの反発がありました。

■成長のための変化

有限会社頓宮製パン時代、常連からは、「このパンは安い」と認知されており、パンの名前や値札、説明が記載されたポップは無く、従業員はパンの説明が出来なくて当たり前でした。私はこの当たり前を変えなければならぬと考え、新規顧客の来店数も増やすため、新商品開発やポップの設置など、古くからあるやり方を一新する決意をしました。従業員からは「今安定しているのだから、新しい事は必要ないのでは。一人でやればいい」などといわれた事もありました。しかし、自分がここを大きく変えて、結果を出せば、従業員は振り向いてくれると信じ、前へ進み続けました。

今や一日に店舗に並べるパンの数は150種類近く。一日一個、新しいパンを作るといふ目標を掲げており、日々冒険心に溢れたパン作りを行っています。



岡山県パン協同組合青年部会長
(株式会社トングウ 代表取締役)

吉田 宣弘氏

社長就任後2年目には、売り上げは就任前に比べ倍以上となりました。従業員も徐々に私と同じ方向に向き始めました。イベントの開催頻度が高く、毎月のフェアで一定の種類に特化した販売ブースを設け、常に新しい商品が店舗に並んでいます。今では毎日600人前後のお客様が来店し、古くからの常連だけでなく、新規顧客も注目するよう店舗へと成長させました。

時代の流れを先読みし、店舗販売に注力していくという吉田氏。店舗数を増やす予定は無く、一店舗に全力を注ぎ続けます。お客様を楽しませるだけでなく、従業員も喜ばせたいという想いから、会社の業績が上がれば従業員へ分配し、喜びをシェアしています。「三方良し」の考え方をベースに、これからも挑戦し続けます。

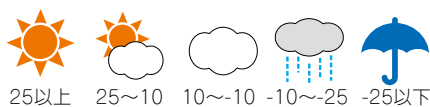
こだわりのあるパン作りと、新しい事を模索しながら、前進し続ける吉田氏の活躍に、是非注目下さい。

(組織支援課 吉尾)

情報連絡員レポート

4月分

岡山県業界天気図



	業界の景況	DI	売上高	DI	収益状況	DI
全体		-22.8		-14.0		-8.8
製造業		-21.4		-10.7		-10.7
非製造業		-24.1		-17.2		-6.9



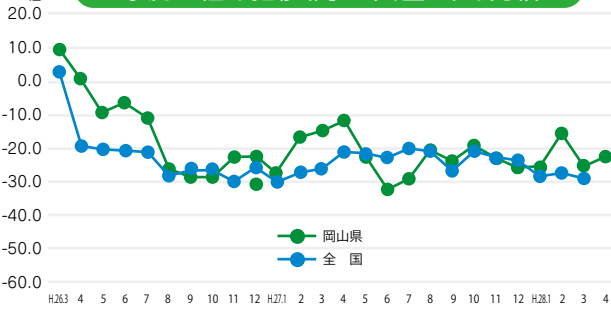
- 増加・上昇・好転
- 変らず
- 減少・下落・悪化

(注)DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業種	業種	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
食料品	味噌	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☀	☁	☁
	米菓	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☀	☀	☁
	豆腐	☔	☔	☁	☁	☀	☁	☔	☀	☁
	醤油	☔	☁	☁	☁	☔	☁	☁	☁	☁
	酒造	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
繊維工業	繊維業・井原	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	繊維業・県	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	アパレル・県	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	アパレル・津山	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
木材・木製品	製材・県	☔	☁	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔
	合板	☔	☀	☁	☁	☁	☁	☔	☁	☁
印刷	出版・印刷	☔	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	製本	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
化学・ゴム	ゴム	☔	☀	☔	☀	☔	☔	☀	☔	☔
	プラスチック製品	☀	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
窯業・土石製品	生コンクリート	☀	☁	☀	☀	☁	☁	☁	☔	☁
	石灰	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☔	☁
	ブロック	☔	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
鉄鋼・金属	鋳物	☔	☀	☁	☁	☔	☔	☔	☔	☔
	鉄鋼	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
一般機器	機械器具・東岡山	☔	☔	☔	☁	☁	☁	☀	☀	☁
	鉄工・津山	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	鉄工・岡山	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	工作機械・総社	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	工作機械・井笠	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	工作機械・英田	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☔
輸送機器	造船関連	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☀
	自動車	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔
その他	畳	☔	☔	☁	☁	☔	☔	☔	☔	☔

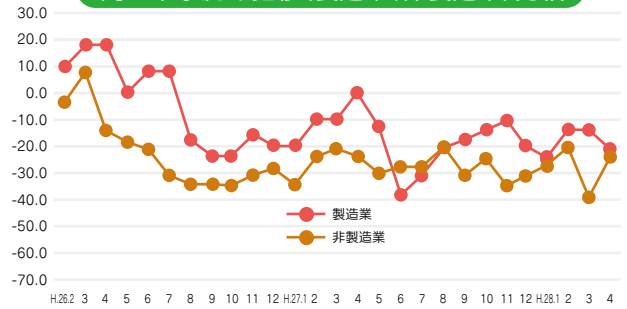
業種	業種	前年同月比							
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	雇用人員	業界の景況
卸売業	機械・工具	☁	☁	☁	☁	☀	☁	☁	☁
	電設資材	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	青果	☔	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	木材	☀	☔	☀	☁	☀	☁	☁	☁
	雑貨	☔	☔	☁	☔	☔	☁	☁	☔
小売業	石油	☔	☔	☔	☁	☁	☁	☁	☁
	青果食品	☔	☔	☔	☁	☀	☁	☁	☁
	中古自動車	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	自動二輪	☔	☁	☁	☁	☔	☁	☁	☁
	家具	☔	☁	☁	☁	☔	☁	☁	☁
商店街	商店街・岡山	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔
	商店街・津山	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☔
	商店街・倉敷	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☔
	自動車整備	☁	☁	☁	☁	☔	☁	☔	☔
	建築設計	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
サービス業	旅館・ホテル	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	電飾・看板業	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	クリーニング	☔	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	リサイクル	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	住宅リフォーム	☔	☁	☁	☁	☔	☁	☁	☁
建設業	左官	☀	☁	☀	☀	☀	☀	☔	☀
	土木工事	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	管工事	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	防水工事	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
運輸業	バス	☔	☁	☀	☔	☔	☁	☁	☁
	タクシー	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	トラック	☔	☁	☁	☁	☔	☁	☁	☔
	倉庫業	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☔
その他	信用組合	☁	☁	☁	☔	☁	☁	☁	☁

景況DI値の推移(岡山県、全国)の比較



- 全国の景況は、前月対比-1.2ポイントDI値が悪化した。原材料費や人件費の上昇でコスト負担が高まっているところに熊本地震が発生し、製造や観光産業に追い打ちをかけた。建設と製造、運輸、倉庫、サービス等の業界が悪化した。先行きについては、観光需要や設備投資増加・建設業への期待等がある一方、熊本地震の影響には引き続き留意する必要がある。
- 県内の景況DI値は、前月対比3.1ポイント好転した。非製造業は+13.8ポイントと大きく改善したのに対し、製造業は-7.6ポイントの悪化となった。株価変動・円高傾向や消費税増税の行方など先行きの不透明感は依然としてある。加えて、熊本地震の影響や大手自動車会社工場の操業停止に関連する企業動向や雇用不安に関して注視する必要がある。

岡山県景況の推移(製造業、非製造業)比較



- 製造業の景況は、前月比-7.6ポイントの悪化となった。DI値内容を見ると、在庫数+11.4、雇用人員+10.5、取引条件+7.0、収益状況+3.1ポイント改善をした。一方で、資金繰り-7.1、設備操業度-6.9、販売価格-3.6、売上高-0.4ポイント悪化した。一部業種は好況だが、全製造業の景況は依然として厳しい状況と感じられる。先行きとしては、熊本地震や大手自動車会社の問題による影響の不透明感も心配される。
- 非製造業の景況は、前月比+13.8ポイントとDI値が改善した。DI値内容を見ると、取引条件+6.9、売上高+3.5、収益状況+3.4ポイントと好転しているのに対し、在庫数量-10.8、販売価格-6.9ポイント悪化した。先行きについては、急な円高による影響や熊本地震と大手自動車会社問題の影響をどの程度受けるのか、運輸物流業・小売業から不安の声が聞かれた。

製造業

食料品

- 業界の景況感は特に変化がないように感じられる。地区内には米業者は少なく、大手メーカーによる寡占化が進んでいる。地方の業者は大手メーカーとの差別化を図るため、国産原料に特化した商品開発を行っている企業が多いが、原材料の安定供給が大きな問題である。《米菓》

繊維・同製品

- 昨年とあまり変化はない。人材(現場技術者)獲得は難しい状況が続いている。《繊維業・井原》

木材・木製品

- 先月同様で、原木の内、特に良質材は一昨年夏頃の価格と比較して大幅に下落した状況が続いているが、小径木はバイオマス発電等の燃料用の引き合いが高いものの、間伐材の入荷量が増加している。ヒノキの住宅用土台等は若干引き合いがあるものの、業界全体としてみると依然として厳しい状況が続いている。《製材・県》
- 木材加工製品販売は公共事業の受注がなく、安い製品販売となっている。木材製品売上前年対比80%。仕入原木価格は安定傾向となっているが、構造用丸太価格は値下りし、今後山元からの出材が心配される。小径木仕入れ価格(和10~14cm/3m) 8,000円/m³、柱口(和16~18cm/3m) 15,000円/m³。《合板》

印刷

- 全体的には売上高は前年より悪い状況であった。印刷資材(インキ、紙)の価格が落ち着いており(低価格傾向)、収益面では悪化の状況ではなかった。《出版・印刷》
- 昨年より好況。《製本》

化学・ゴム

- 熊本地震や得意先の製造ラインの停止による売上への影響が懸念される。早急な立直りをして頂ければと願っている。《ゴム》

窯業・土石製品

- 4月1日より一部の地区で価格改定有り。《生コンクリート》
- 月別では前年比売上減少だが、収益は前年比増加。相変わらず月により売上のばらつきがあるものの、総じて今後とも大きく変わることなく現状程度にて推移するものと思われる。《ブロック》

一般機器

- 三菱自動車の問題により取引の受注が減少。問題が長期化すると資金繰りに影響を及ぼす可能性が見込まれる。《機械器具・東岡山》
- ほとんどの企業は横這いの状況であり、先行きが見通せない。《鉄工・岡山》

- 組合員全体としては概ね前年並みをキープしている。一部組合員においては、受注量増加にともなう設備更新、また人員の増員も行っている。《工作機械・総社》
- 受注量は安定的に確保出来ており、売上高増加傾向である。《工作機械・井笠》

その他製造業

- 新年度が始まる景気の悪さが需要が伸びず停滞している。そのうえに熊本の震災の影響もあり。《畳》

非製造業

卸売業

- 先行きの不安材料が多すぎる。売上減少が懸念される。《機械・工具》

小売業

- 天候不順で商店街の集客力が低下している。《商店街・岡山》
- 春の行楽シーズンにもかかわらず、人通りも疎らである。《商店街・津山》
- 天候不順の為、売れ行きが安定しない。三菱自動車水島工場の動向が悪影響を与えそうだ。今後数年、影響が続くと考えている。《商店街・倉敷》
- 4月中旬以降に少しずつではあるが、新しい物件(入札情報等)が出ている。今後、各官庁等からの発注物件が増えることを見込んでいる。《建築設計》

商店街

- 寒暖の差や週末の悪天候により、衣替えのピークは遅くなっている。5月が繁忙期の山場と期待している。《クリーニング》
- 鉄・非鉄では、4月の国内スクラップ価格は騰勢を強め、1トン当たり6,000円上昇(値戻し)し、3~4月では約10,000円の上昇(値戻し)となった。急騰の背景は、中国産粗鋼の輸出オファーが急減し、世界的にスクラップ価格の安値が是正されたことが大きい。今後も騰勢が続くか否かは見解が分かれている。古紙では、依然として国内発生量は低調で、中国への輸出も勢いがなく価格はほぼ横這いで推移した。《リサイクル》

サービス業

- 貸切バス料金の適正化により、旅行商品販売価格は前年比109%となったが、結果的に単価上昇による個人客離れを引き起こし、集客人員は前年比72%となった。特に季節商品の桜プランは前年比64%と苦戦した。一方、大河ドラマ関連や街歩きプランは好調であった。《バス》
- 運賃値上げ(H27年11月28日実施)の効果が今一つ反映されておらず、依然として厳しい状況が続いている。《タクシー》
- 熊本大震災による部品供給停止に引き続き、三菱自動車の不正発覚問題による影響はさらに大きく、乗務員を自宅待機させている組合員もある。マイナス金利の影響から円高・株安傾向で燃料価格は上昇し、厳しい状況となっている。荷動きも低調である。《トラック》

運輸業

- 年度が替わり、年度末からの余波が月初は続いた状況。但し、例年と比較すると全体的に荷動きは悪く、依然として厳しい経営環境にある。さらに原油価格も上昇し、値上がり傾向にある。県内倉庫も余力がなく、未だ倉庫物件情報を求める声を聞く。また、円安に振れ、輸出関係も沈静化、取扱いが減少気味。水島関係は既に定修に入っているが倉庫不足は続いている。GWに入ることもあり、また、4月14日に発生した熊本地震の影響も今後出てくる予想。物流業全体で人手不足の問題が深刻化しており、益々人材不足に陥る状況になってきた。また、三菱自動車燃費データ不正問題での物流事情も悪化は必須。当該業務を行っていた企業による貨物獲得競争の過熱が心配。(安売り合戦にならねばいいが)《倉庫業》

その他

- 地域の中小零細企業者に大きな動向や業況に変化は生じていない。急速な円高や三菱自動車工業(株)の生産・販売の停止が今後どのように影響するか注視が必要と思われる。先行きの不透明感は大きくなっており、今後は直接的な影響も出てくると思われる。《信用組合》

情報連絡員に聞く

業界の現状について教えてください

木材産業は、木材需要の減少、木材価格の長期にわたる低迷等により、厳しい状況にあります。

木材需要に大きく影響する住宅着工数は、景気がやや回復傾向もあり、平成27年度は前年よりやや上回りましたが、今後、少子化の影響で大きな伸びは期待出来無い見込みです。このため、公共建築や商業建築等、住宅分野以外へ木材を利用していくことが、業界全体の課題です。また、岡山に限らない事ですが、全国的に人工林が伐期を迎えています。豊富にある国産資源の利用も、課題です。岡山県木材協同組合連合会は、業者数312業者8組合が集まる連合会ですが、木材需要の減少から、業者数は減少傾向にあります。

木材需要の減少は、外材(輸入木材)の影響もありますか

ありますが、最近では国産材比率が伸びてきています。昔は外材と国産材の価格差が大きかったですが、近年では国産材価格の下落により価格差は縮まっています。外材と競争するためには価格も考慮する必要がありますが、乾燥材を始めとする品質の優れた製品を安定的に供給し

ていくことが大切です。

流通について教えてください

林業のサイクルは、植えて育てて、伐採して利用するという流れです。当連合会は、伐採から関わっています。今のサイクルが回っておらず、大きな課題となっています。山から木を伐採するのにも、伐採後に山から運び出すのにも経費が必要です。外材と価格競争し、木そのものの価格が安くなると、山から運びだすまでの経費により、土地所有者は赤字になってしまいます。そのため、次の木を植えるためにも資金が必要ですので、うまくサイクルが回らなくなってしまうのです。

木が大きくなると、光が入らず、地面に草が生えません。雨が降ると土砂が流れ災害のもとになります。そのため、間伐を行って間引く必要があります。しかし、そこにも資金が必要となります。間伐も回数が必要としますからね。

このような循環がうまくいくと、地球温暖化の防止にも貢献出来ます。木材の二分の一は二酸化炭素なので、木を使う事は、温暖化防止に繋がるのです。太った木は、たくさん二酸化炭素を吸収していますから、それを住宅へ固定するこ



岡山県木材協同組合連合会
常務理事 山下 秀喜氏

ういったことに役立つのです。

木材のこれからについて教えてください

県内では、間伐材等山に放置されていた未利用材を燃料とするバイオマス発電や、新たな建築資材として期待されるCLT(直交集成板)及び檜無垢材を用いた重ね梁材等、新規分野での用途開発・利用が進められています。CLTは、中高層建築も可能とする新建材として注目されており、今後、オリンピック関連施設への利用も期待されています。このことは、木材需要の新たな創出に繋がるものであり、木材の用途が多様化していくでしょう。林業のサイクルの好循環化にも影響して行くのではないでしょう。

また、岡山の木材は、国内だけでなく、海外にも発信しております。ここ4年程、中国と韓国の展示会に岡山の木材を出展しております。特に檜は良いと好評ですよ。意外と知られていないのですが、岡山県は平成24年から4年連続で檜の素材生産量が日本一です。「日本一の檜の国岡山」というキャッチフレーズをかかげ、岡山県もすっかりアピールしていきたいと思えます。



韓国の木材展示会の様子

とで、二酸化炭素を閉じ込められますからね。よく、伐採が悪いように言われますけど、無秩序な伐採は良くありませんが、サイクルが正しく回っていれば、こ

通常総会終了後の事務手続きについて

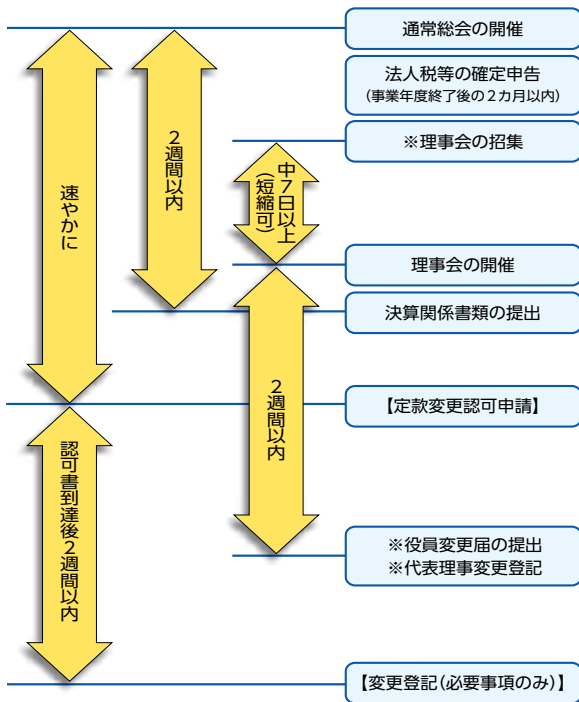
組合には、法律によって、所管行政庁から認可を受けなければならない事項や届出を要する事項等が定められています。認可を必要とする事項としては定款変更などが挙げられ、届出を要する事項としては、決算関係書類や役員の変更などが挙げられます。

これらの事務手続きを円滑に進めていただくためのスケジュール及び主な留意点を紹介します。
決算関係書類の提出

決算関係書類（事業報告書・財産目録・貸借対照表・損益計算書・剰余金処分案又は損失処理案）は通常総会に提出し、承認を受け、通常総会終了後2週間以内に、決算関係書類とそれらを承認した総会議事録に届出書を添えて各所管行政庁へ提出しなければなりません。

役員変更届の提出

役員に変更があった場合は、変更のあった日から2週間以内に、各所管行政庁に役員変更届出書及び変更のあった事項を記載した書面並びに変更の年月日及び理由を記載した書面、総会議事録、理事会議事録を添えて提出しなければなりません。



◆上記※に関しては、役付役員の選任があった場合のみ
◆上記【 】記載は定款変更があった場合のみ

代表理事の変更登記申請

代表理事の変更（同一人物が代表理事に再選された場合を含みます。）があった場合、代表理事が就任した日から2週間以内に法務局に変更登記申請しなければなりません。

○郵送による申請について

岡山地方法務局（〒700-8616 岡山市北区南方1-3-58 岡山地方法務局法人登記部門）まで郵送ください。なお、郵送では原本と併せて原本の提出が必須となります。

定款変更の認可申請

定款変更を総会で決議した場合には、所管の行政庁の認可を受けなければ効力が発生しません。そのため、総会后、速やかに所定の書類を添えて認可行政庁に提出しなければなりません。

なお、定款変更に関しては、変更する箇所によっては法令に準用する部分や追加書類が必要な場合もありますので、定款変更を行う際は、事前に必ず岡山県中央会へご相談ください。

岡山県からのお知らせ

平成27年4月1日から『フロン排出抑制法』が施行されています。

フロン類は、オゾン層の破壊や地球温暖化を及ぼすことから、大気中への排出を抑制することを目的とした「特定製品に係るフロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）」では、業務用の冷凍冷蔵機器やエアコンを管理する事業者には、機器の点検、フロンの漏えい量の算定と国への報告などが新たに義務付けられています。

■機器の点検

- 全ての機器を対象とした簡易点検（外観の目視などを3月に1回以上）
- 一定規模以上の機器を対象とした定期点検（右次表の頻度で、専門家（※）の実施又は立会いによる。）
- 記録等の整備

機器の種類	圧縮機電動機定格出力	定期点検頻度
業務用冷凍冷蔵機器	7.5kW以上	1年に1回以上
業務用エアコン	50kW以上	1年に1回以上
	7.5kW以上 50kW未満	3年に1回以上

■フロン類の漏えい量の算定・報告

フロン類充填回収業者から発行される充填・回収証明書に基づき、下記算式で算定漏えい量を算定

$$\text{フロン類算定漏えい量 (CO}_2\text{-t)} = (\text{機器整備時充填量 (kg)} - \text{機器整備時回収量 (kg)}) \times \text{地球温暖化係数} \div 1,000$$

毎年度の算定漏えい量が1,000CO₂-t以上となった場合、翌年度の7月末日までに国（事業所管省庁）に報告が必要

（※）専門家（十分な知見を有する者）とは

- ◇冷媒フロン類取扱技術者の資格を有する者
- ◇以下の資格を有する者で、国が認定した講習を受講した者
 - ▽高圧ガス製造保安責任者
 - ▽冷凍空調技士
 - 等

掲 示 板

■岡山県中央会 第61回通常総会

日時 平成28年6月23日(木) 14時～16時
場所 ホテルメルパルク岡山

■全国中小企業青年中央会代表者会議・総会

日時 平成28年6月24日(金)
場所 春日大社(奈良県奈良市)

■全国中央会理事会・総会

日時 平成28年6月30日(木)
場所 ANAインターコンチネンタル
ホテル東京

共済業務委託制度活用のおすすめ

組合自己財源確保のため

当会が実施している「共済制度」の普及・促進等のご協力をいただける組合様を募集しています。又、業務委託契約を結び、組合・組合員の役職員の方がご成約いただければ紹介料をお支払いします。当会HPをご覧ください。問い合わせは総務企画課まで。



企業の人事担当者の皆様へ 当センターでは

人材の確保・従業員の再就職を 支援しています。

お気軽にご相談ください

ご利用時間／9:00～17:00
(土・日・祝日は休業)



公益財団法人 **産業雇用安定センター 岡山事務所**

〒700-0826 岡山市北区磨屋町10-20(磨屋町ビル4階)
Tel.086-233-3081 Fax.086-233-1227
E-mail okayama-j2@sangyokoyo.or.jp URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

産業雇用

検索



あなたの会社の福利厚生をバックアップ

ときめきプラザ

給付金／助成金／提携施設／イベント補助など
社員の福利厚生の制度導入、充実に!!

一般財団法人 **岡山市勤労者サポートプラザ**

〒700-0905 岡山市北区春日町5番6号 岡山市勤労者福祉センター 1F
☎086-223-6364 Fax.086-223-6384
<http://www.tokimekiplaza.jp> info@tokimekiplaza.jp

会費 500円/月

スマホの小ワザ

身の回りのモノで、意外と知られていない機能・ITツールをご紹介します。今回はスマートフォンに元々の機能。1分間で出来る簡単写真加工です。InstagramやFacebook等、SNSにスマートフォンの写真を投稿される写真は、個人的な趣味から企業PR用まで様々だと思います。iPhoneを始めとする最近のスマートフォンは、デジタルカメラに劣らない画質で綺麗な写真が撮れるようになりました。これらの写真にスマートフォンで簡単に出来る画像加工で、見栄えを大きく変えてしまいたいしょう。

左の写真を見比べて頂ければ一目瞭然、景色や食べ物の見栄えが大幅UP！写真を少し回転させることで遊び心を入れることも、歪み是正の微調整も出来ます。スマートフォンで写真を撮る際は、編集ボタンを押してみてもいい。色合いやサイズ・角度が調整可能です。最近ではSNS投稿時にも編集出来るようになってきました。ちょっとしたスパイスで素敵な写真になりますよ。是非試されてみてはいかがでしょうか。

(組織支援課 吉尾)



色合い調整

角度・色合い調整

中国学園大学 現代生活学部 人間栄養学科 講師 古川愛子の

健康と若さを保つ食生活を目指そう！

料理名 番茶ロールケーキ

ぼっけえ番茶が香る大人の和風ロールケーキです。クリームにあんこを加えることでエネルギーを抑えました。是非、ぼっけえ番茶と一緒に召し上がってください！

●材料 (1本: 30cm)●

生地: 卵4個、砂糖80g、A【サラダ油30g、水30g】薄力粉70g、ぼっけえ番茶15g

クリーム: 生クリーム100g、粒餡80g

《作り方》

- ① 卵黄に砂糖を入れ、白くなるまで泡立て、Aを混ぜて加える。
- ② ①にふるった薄力粉を加え、よく混ぜる。卵白でメレンゲを作り、2回に分けて加えて混ぜる。
- ③ ミルサーにかけ、粉末にした番茶を②に加える。
- ④ 底から切るように混ぜ、クッキングシートを引いた天板に生地を流し込む。
- ⑤ 180℃に予熱したオーブンで、8～10分焼く。
- ⑥ 生クリームを7分立てに泡立ててから、粒餡を加えて混ぜる。
- ⑦ 生地に⑥を手前が多めにのせ、全体に薄くのばし巻く。

私たちが考えました!



人間栄養学科 4年生

(左から) 広瀬美幸、横山こみ、比嘉彩月

栄養価 (1切れ 幅約2cm)

エネルギー	たんぱく質	脂質
117kcal	2.4g	6.1g
炭水化物	カルシウム	食塩
12.7g	12mg	0.1g



今回は、(株)甲修園より、剣豪宮本武蔵が生まれ育った岡山県北部山間地で摘み取った茶葉を、乾燥させ鉄板釜で自家焙りした香ばしいお茶「ぼっけえ番茶」をいただいております。

編集後記

お仏壇と言えば手を合わせる。多くの方が昔から供養や願い事で手を合わせています。特に、お正月になると初詣に行くこともあると思いますが、そこでお願した事が叶っても、後日「ありがと」とお礼を伝えるに行く人はどれくらいいるのでしょうか。神様仏様も、一言お礼があれば気持ち良く思われるのではないかと、ふと考える事があります。

いつもと違う嬉しい事が起きるから感謝をする。「有る事が難しい」と書いて「有難つ」という言葉を考えて昔の人のセンスには脱帽します。私自身、些細なことでも、「ありがと」と言える人間を目指していきたいです。

(吉尾)

ボっけえはんさん士 だじまうし平





経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。



従業員のための退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、安定した退職金準備ができる共済制度です。

- 特定退職金共済制度 引受保険会社
三井生命保険株式会社



経営者・従業員のための万一の保障 団体扱生命保険

団体扱* (月払)の場合、一般扱(口座振替月払等)でご契約いただくよりも、保険料が割安になります!

オーナーズプラン

経営者の事業承継対策とリスクマネジメントのために。

パートナーズプラン

従業員の皆さまの保障準備をサポートします。



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる従業員さまのケガなどのリスクをカバーする保険です。

- 業務災害補償保険
引受保険会社 三井住友海上火災保険株式会社
取扱代理店 三井生命保険株式会社

* 団体扱とは、岡山県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。

※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記までお問い合わせください。

※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意事項起情報)」「ご契約のしおり-約款」および岡山県中小企業団体中央会の「退職金共済規程(規約・規則)」等を必ずご覧ください。

三井生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の取扱代理店として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

三井生命保険株式会社 岡山支社

〒700-8521 岡山県岡山市北区幸町8-29 三井生命岡山ビル6F TEL:086-232-2011

<http://www.mitsui-seimei.co.jp/>